

2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月15日

上場会社名 コンピュータマインド株式会社 上場取引所 東
コード番号 2452 URL https://www.cmind.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹内 次郎
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 小木曾 有夏 (TEL)044(856)9922
定時株主総会開催予定日 2024年6月24日 配当支払開始予定日 2024年6月25日
発行者情報提出予定日 2024年6月24日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績 (2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	360	△0.1	32	△22.5	32	△24.1	23	△26.3
2023年3月期	360	24.2	42	—	42	644.1	31	179.0

(注) 包括利益 2024年3月期 24百万円 (△22.2%) 2023年3月期 31百万円 (171.3%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	51.75	—	15.6	11.0	9.0
2023年3月期	70.19	—	24.8	15.9	11.7

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 一百万円 2023年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	298	156	52.3	348.84
2023年3月期	290	140	48.4	314.27

(参考) 自己資本 2024年3月期 156百万円 2023年3月期 140百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	19	△29	△6	135
2023年3月期	41	△3	△16	152

2. 配当の状況

	年間配当金			配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	中間期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	0.00	20.00	20.00	8	28.5	7.1
2024年3月期	0.00	10.00	10.00	4	19.3	3.0
2025年3月期(予想)	0.00	6.00	6.00		15.2	

3. 2025年3月期の業績予想 (2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	361	0.2	26	△18.0	26	△19.2	17	△23.9	39.37

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年3月期	450,000株	2023年3月期	450,000株
2024年3月期	2,500株	2023年3月期	2,500株
2024年3月期	447,500株	2023年3月期	447,500株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報)	10
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における日本経済は、行動制限の緩和や水際対策の緩和を受けてインバウンド需要が回復するなど、個人消費や企業の生産活動を中心に経済活動の正常化が緩やかに進んだものの、円安等の影響によりインフレが進行しました。先行きについては、世界的な金融引締めや中国経済の停滞など、海外景気の下振れが国内景気を下押しするリスクや、インフレ、為替変動等の影響が懸念されます。

当社グループの属する情報サービス産業においては、インフレや為替変動等の不透明感が残るものの、様々な業種で事業拡大や競争力強化を目的としたシステム投資需要の拡大基調が続いております。先端技術の普及やクラウドシフトを背景に、事業の強化や変革を推進するDX関連向けなどのIT投資へのニーズは底堅く、また、テレワークやリモート会議といった新しいビジネススタイルの導入を始めとする働き方改革が浸透し、これに対応するソリューションへの需要は高まりつつあるなど、受注環境は総じて堅調に推移しております。

当社グループにおいては、テレワークの導入等、新たな働き方改革で人とモノに投資を行い、経営基盤を更に強化してまいります。

このような市場環境・経営環境の中で、当連結会計年度の売上高は360,437千円（前年同期比0.1%減少）、営業利益は32,608千円（同22.5%減少）、経常利益は32,534千円（同24.1%減少）、親会社株主に帰属する当期純利益は23,157千円（同26.3%減少）となりました。

セグメント別の業績は次の通りです。

(IT関連事業)

売上高は342,408千円（前年同期比1.1%減少）、セグメント利益は113,594千円（同7.3%減少）となりました。受注は総じて堅調に推移しましたが、外注加工費の増加等により減益となりました。

(先端技術活用事業)

売上高は18,028千円（前年同期比24.4%増加）、セグメント利益は1,498千円（前年同期はセグメント損失3,937千円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

当連結会計年度末における流動資産の残高は202,092千円で、前連結会計年度末に比べ18,647千円減少しております。現金及び預金の減少16,398千円が主な変動要因です。

(固定資産)

当連結会計年度末における固定資産の残高は96,509千円で、前連結会計年度末に比べ26,926千円増加しております。建設仮勘定の増加23,934千円、保険積立金の増加3,966千円、有形固定資産の「その他」に含まれる工具、器具及び備品の増加2,996千円、のれんの減少2,630千円が主な変動要因です。

(流動負債)

当連結会計年度末における流動負債の残高は77,899千円で、前連結会計年度末に比べ8,891千円減少しております。「その他」に含まれる未払消費税等の減少4,750千円、未払法人税等の減少3,884千円が主な変動要因です。

(固定負債)

当連結会計年度末における固定負債の残高は64,595千円で、前連結会計年度末に比べ1,698千円増加しております。長期借入金の増加1,698千円がその変動要因です。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産の残高は156,106千円で、前連結会計年度末に比べて15,472千円増加しております。親会社株主に帰属する当期純利益の計上による利益剰余金の増加23,157千円、剰余金の配当による利益剰余金の減少8,950千円が主な変動要因です。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は135,775千円（前連結会計年度末比16,398千円減少）となりました。各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は以下の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は19,603千円（前年同期は41,169千円の獲得）となりました。主な増加要因は税金等調整前当期純利益32,534千円等、主な減少要因は法人税等の支払額12,580千円、未払消費税等の減少額4,750千円等です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は29,843千円（前年同期は3,012千円の使用）となりました。主な減少要因は有形固定資産の取得による支出26,931千円等です。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は6,158千円（前年同期は16,980千円の使用）となりました。減少要因は長期借入金の返済による支出24,208千円及び配当金の支払額8,950千円、増加要因は長期借入れによる収入27,000千円によるものです。

（4）今後の見通し

新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和と経済活動の正常化が進む一方で、原材料価格・エネルギー価格の高騰や為替変動など、依然として不透明な経済環境が継続しております。

当社グループでは、柱であるIT関連事業の売上拡大、収益性向上に取り組み、技術者の確保を優先課題として取り組んでまいります。さらに、当社連結子会社は、当社が営んでいる先端技術活用事業の一部業務の移管、及び所在地が沖縄であることを活かし、地域活性に貢献する事業などを進めてまいります。

また、当社グループ全体で進めてきたテレワークの推進等で経費削減の効果が表れているものの、新たな働き方改革で物と人に投資を行うなど、引き続き、経費節減と収益性の向上を目指してまいります。

以上により、翌連結会計年度の連結業績の予想といたしましては、売上高361,293千円、営業利益26,735千円、経常利益26,295千円、親会社株主に帰属する当期純利益17,618千円を予想しております。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、現在、日本国内において事業を展開していることなどから、当面は日本基準に基づいて連結財務諸表を作成する方針であります。なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の動向などを踏まえた上で検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	157,173	140,775
売掛金及び契約資産	59,659	57,533
その他	4,264	3,783
貸倒引当金	△357	—
流動資産合計	220,740	202,092
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,490	3,490
機械装置及び運搬具	32,060	32,060
建設仮勘定	—	23,934
その他	1,565	4,561
減価償却累計額	△35,411	△36,450
有形固定資産合計	1,703	27,596
無形固定資産		
のれん	8,766	6,136
その他	718	558
無形固定資産合計	9,485	6,695
投資その他の資産		
投資有価証券	6,576	8,480
繰延税金資産	2,582	1,262
保険積立金	42,290	46,257
その他	6,943	6,216
投資その他の資産合計	58,394	62,217
固定資産合計	69,582	96,509
資産合計	290,322	298,601

コンピュータマインド株式会社 (2452)
 2024年3月期 決算短信[日本基準] (連結)
 (単位:千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,768	12,199
1年内返済予定の長期借入金	22,904	23,998
未払費用	15,757	17,727
未払法人税等	8,410	4,526
賞与引当金	14,467	11,804
その他	12,483	7,644
流動負債合計	86,791	77,899
固定負債		
長期借入金	60,980	62,678
その他	1,917	1,917
固定負債合計	62,897	64,595
負債合計	149,688	142,494
純資産の部		
株主資本		
資本金	35,000	35,000
資本剰余金	15,000	15,000
利益剰余金	90,830	105,038
自己株式	△1,250	△1,250
株主資本合計	139,580	153,788
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,053	2,318
その他の包括利益累計額合計	1,053	2,318
純資産合計	140,634	156,106
負債純資産合計	290,322	298,601

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

①連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	360,706	360,437
売上原価	228,236	235,029
売上総利益	132,469	125,408
販売費及び一般管理費	90,368	92,799
営業利益	42,101	32,608
営業外収益		
受取利息及び配当金	37	23
助成金収入	1,442	562
その他	141	118
営業外収益合計	1,621	703
営業外費用		
支払利息	853	689
その他	—	88
営業外費用合計	853	777
経常利益	42,869	32,534
税金等調整前当期純利益	42,869	32,534
法人税、住民税及び事業税	8,411	8,696
法人税等調整額	3,048	680
法人税等合計	11,459	9,376
当期純利益	31,409	23,157
親会社株主に帰属する当期純利益	31,409	23,157

②連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	31,409	23,157
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26	1,264
その他の包括利益合計	△26	1,264
包括利益	31,382	24,422
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	31,382	24,422

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	35,000	15,000	63,001	△1,250	111,751	1,080	1,080	112,831
当期変動額								
剰余金の配当			△3,580		△3,580			△3,580
親会社株主に帰属する当期純利益			31,409		31,409			31,409
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					—	△26	△26	△26
当期変動額合計	—	—	27,829	—	27,829	△26	△26	27,802
当期末残高	35,000	15,000	90,830	△1,250	139,580	1,053	1,053	140,634

当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	35,000	15,000	90,830	△1,250	139,580	1,053	1,053	140,634
当期変動額								
剰余金の配当			△8,950		△8,950			△8,950
親会社株主に帰属する当期純利益			23,157		23,157			23,157
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					—	1,264	1,264	1,264
当期変動額合計	—	—	14,207	—	14,207	1,264	1,264	15,472
当期末残高	35,000	15,000	105,038	△1,250	153,788	2,318	2,318	156,106

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	42,869	32,534
減価償却費	797	1,198
のれん償却額	2,630	2,630
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	145	△357
受取利息及び受取配当金	△37	△23
支払利息	853	689
売上債権の増減額 (△は増加)	△24,199	2,126
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,942	△569
未払消費税等の増減額 (△は減少)	4,407	△4,750
賞与引当金の増減額 (△は減少)	8,746	△2,662
その他	3,440	2,034
小計	42,595	32,849
利息及び配当金の受取額	37	23
利息の支払額	△853	△689
法人税等の支払額	△610	△12,580
営業活動によるキャッシュ・フロー	41,169	19,603
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	—	△26,931
その他	△3,012	△2,912
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,012	△29,843
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	30,000	27,000
長期借入金の返済による支出	△43,400	△24,208
配当金の支払額	△3,580	△8,950
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,980	△6,158
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	21,177	△16,398
現金及び現金同等物の期首残高	130,996	152,173
現金及び現金同等物の期末残高	152,173	135,775

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。したがって、「IT関連事業」と「先端技術活用事業」の2つを報告セグメントとしております。

各セグメントに属するサービスの内容は以下の通りであります。

セグメント区分	属するサービスの内容
IT関連事業	新聞系システム開発業務、新聞システムインテグレーション (SI) 業務、テクニカルサポート業務、日本語資源開発業務、一般システム開発業務、その他業務 (パソコン教室運営業務)
先端技術活用事業	防災関連商品販売業務、実証実験業務

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と同一であります。

報告セグメントの利益又は損失は、連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額 (注2)
	IT関連事業	先端技術活用 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	346,217	14,488	360,706	—	360,706
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	346,217	14,488	360,706	—	360,706
セグメント利益又は損失 (△)	122,499	△3,937	118,562	△76,460	42,101
セグメント資産	81,643	2,474	84,117	206,205	290,322
その他の項目					
減価償却費	0	459	459	337	797
のれん償却額	2,630	—	2,630	—	2,630
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	—	—	—	—	—

(注1) 調整額の内容は、以下の通りです。

- (1) セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。
- (2) セグメント資産の調整額は、報告セグメントに帰属しない、当社グループにおける現金及び預金並びに管理部門に係る資産です。
- (3) 減価償却費の調整額は、全社資産に係る減価償却費です。

(注2) セグメント利益又は損失 (△) は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額 (注2)
	IT関連事業	先端技術活用 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	342,408	18,028	360,437	—	360,437
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	342,408	18,028	360,437	—	360,437
セグメント利益	113,594	1,498	115,093	△82,484	32,608
セグメント資産	80,018	25,564	105,583	193,018	298,601
その他の項目					
減価償却費	599	360	959	238	1,198
のれん償却額	2,630	—	2,630	—	2,630
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	26,931	—	26,931	—	26,931

(注1) 調整額の内容は、以下の通りです。

- (1) セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。
 - (2) セグメント資産の調整額は、報告セグメントに帰属しない、当社グループにおける現金及び預金並びに管理部門に係る資産です。
 - (3) 減価償却費の調整額は、全社資産に係る減価償却費です。
- (注2) セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	314円27銭	348円84銭
1株当たり当期純利益	70円19銭	51円75銭

(注1) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(注2) 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下の通りです。

項目	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
純資産の部の合計額 (千円)	140,634	156,106
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	140,634	156,106
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数 (株)	447,500	447,500

(注3) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下の通りです。

項目	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	31,409	23,157
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	31,409	23,157
普通株式の期中平均株式数 (株)	447,500	447,500

(重要な後発事象)

該当事項はありません。